

第7回 アドバイザー活動支援講座

北海道美幌町在住 平田美木男アドバイザーからの報告

美幌町は人口17,400人 風光明瞭な田園都市

平田美木男の自己紹介

・1948年生まれの76歳 男性

・アドバイザー資格は2020年に札幌市にて取得

・地域活動歴

美幌町自治会連合会会長

美幌町シニアクラブ連合会会長

・サロン運営歴

びほろじ〜・ば〜サークル輝 代表

汁物サロンしゃべらんかい 幹事兼会計

元町北自治会 柏クラブ 副会長兼幹事

サロン男談農園 会員

アドバイザー資格取得のきっかけ

- 2019年北海道新聞に健康生きがいくくりアドバイザー北海道協議会 渡邊一栄代表の活動紹介と活動内容の記事が掲載されていたのを見て、自分のこれからの生活に必要と感じて応募。
- 2020年、3泊4日で札幌に行きアドバイザー講座を受講。
- 現在、地域で健康生きがいくくりアドバイザー活動のほか、道社協認定の生きがいくくりクリエイター・北海道シニアリーダーを平行活動中。

孤立予防・フレイル予防につながる 「びほろ男談農園」の活動を紹介



農園のはじまり①

- 令和元年に、農場長が委嘱されている美幌町生活支援コーディネーター活動の中からヒントを得て、男性だけの憩いの場として開設。



農園のはじまり②

- 目的は、孤立（ひきこもり）予防・フレイル予防、男性の生きがいがいづくりの場の提供。勿論、女人禁制。



15名からスタート

- 2019年の発足当初は15名。
- 現在は23名。
- 年齢は60歳代から92歳まで。
- 美幌町だけではなく、隣町の大空町や網走市からの会員も。



会の運営

- 農場長・総務担当・会計係の3名が運営を担当。
- ほかの会員は作業が主体。
- 例会の参加者は、平均16名。



例会

- 毎週月曜日の午前10時から1時間。雨や雪でも開催。
- 農作業は5月から10月くらいまで。
- 冬期間は事務所（作業場）に集まり、次年度の作付けや日常の出来事を話し合う。



口の運動



農園の耕作地

- 広さは103坪。私有地を借用。
- 地主さんより、土地の管理ができると喜びの声が。
- 年間の固定資産税を農園より支払い。



農作業の時期

- 5月連休明け頃から植え付け開始。
- 本格的には6月頃より活動開始。



- 北海道は遅霜の心配があるため時期に気を遣う。









農作物

- 何を植えるのかは、その年によって変わる。
- 種や苗などは農家さんで余ったもの、仲間が家庭菜園で余ったものを活用。
- 農園独自では準備しない。すべて他力本願の植え付け。





今までに植えたもの

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ▪ ジャガイモ | ▪ ミニトマト | ▪ ピーマン |
| ▪ 玉ねぎ | ▪ キュウリ | ▪ アスパラ |
| ▪ カボチャ | ▪ 白菜 | ▪ サツマイモ |
| ▪ 人参 | ▪ キャベツ | ▪ ブロッコ |
- リー
- 自然農法のため、雑草と害虫との戦い。
 - 自然の力には負けながらも10月まで続ける。



収穫した作物について

- 会員で平等分配
- 秋には、収穫物で芋煮会やカレーパーティを開催。
- 交流を通じて人と人のつながりを大切に！！





25



26



農園とSDGs

- 農家さんで一度使った農業資材（パウパウ・マルチシート）・苗等を再利用。
- 若干の環境保護に結び付いていると勝手に解釈!!







活動費（収入）

- 年会費 1,200円
- 社会福祉協議会や行政のサロン運営助成金制度を活用。
- 飲み物などは会員からの差し入れ。



活動上の課題・問題・悩み

- 有機栽培のため、雑草や害虫との戦い。
- 土地の栄養分が減少してきている。



兄弟農園（支援農園）①

- 土地所有者から雑草防止にと頼まれ、800坪の土地を借用。
- 一部は、会員でマイ畑として利用。
- そのほかは男談農園会員で作付け。
- この農園は女性もOK。



兄弟農園（支援農園）②

- 作業は原則、男談農園例会日と同じ月曜日の午前9時から10時まで。
- 収穫物は、町内の介護施設5ヵ所に、収穫ごとに配布。施設からは喜びの声が！
- 種・苗・資材・肥料などは男談農園と同じく他力本願。





男談農園・支援農園はこれからも前へ前へと、男性が集まり談笑をしながら、作業・収穫をして歩み続けます。



ご清聴ありがとうございました



健康生きがいづくりアドバイザー 平田美木男